

英語スピーキングテストは中止を

公平・公正でなかったという中3生の証言や、多くの都民の反対の声を無視し、テストを都立高校入試に活用したことは許されません。

しかも23年度は中学校全学年にテストを拡大するとして、予算を前年度の7倍、35億円も計上。5党派共同で35億円を削除する修正案を提出しましたが、自民、公明、都民ファなどにより否決されました。テストの強制でなく、自主性、自発性を大切にしたい豊かな学びを保障すべきです。

少女たちの居場所を守れ

虐待などで家に居場所がなく夜の繁華街などをさまよう少女たちを性被害などから守る若年被害女性等支援事業について、都は「非常に重要だ」と認めました。事業を委託されている団体Colaboが、不正に委託料を受け取った事実はなかったことも、はっきりしました。

ところが今、Colaboのアウトリーチの活動に対し、大勢で取り囲む、暴言を吐くなどの悪質な妨害が続いています。こうした中で都が団体に対し、妨害行為が行われていることを理由にして、活動の事実上の中止要請をしたことは、少女たちの危険を高めるものであり、間違いです。東京都が責任を持って、団体が活動できるように対応することを、強く求めます。

都立病院独法化 ——医療の後退をゆるさない

コロナ対策を強化する、行政的医療を将来にわたり提供すると言って、知事が都立・公社病院の独立行政法人化を強行して9カ月が経ちました。

ところが多摩総合医療センターでは、独法化されたその日に感染症内科の医師が退職し常勤医師がいなくなったことや、夜間の救急医療体制で重要な役割を果たしているER病棟を閉鎖しようとしていたことが明らかになりました。まさに行政的医療を後退させ、経営効率を優先する独法化の本質が浮き彫りになっています。独法化した病院を直営に戻し、拡充することを求めます。

池小の 都政の 大問題

都民の運動と 連帯し、奮闘



五輪汚職・談合 徹底解明を

談合は、都派遣職員が局長を務める部署の事業で行われ、しかもその相談は組織委員会の事務所内でされました。大量に派遣されていた都職員の誰も気づかなかったのでしょうか。

世論に押され有識者のもとで調査するとしたものの、その調査チームのトップが元オリパラ準備局長（現副知事）では利害関係が排せません。第三者機関の設置による徹底調査と公表が必要です。

史実をゆがめる 関東大震災、朝鮮人虐殺

都の公式の記録である『東京百年史』は、関東大震災後に多くの朝鮮人が虐殺されたことを史実と認め、震災による被害と区別される人災であるとし、東京の歴史の汚点だと明記しています。

知事が、日本共産党都議団の質問に対し、史実と認めなかったことはきわめて重大です。関東大震災100年の今年の9月1日に、歴代知事と同様に朝鮮人犠牲者に対する心をこめた追悼文を出すことを強く求めます。

有機フッ素化合物

PFAS — 調査と解明を

PFAS(有機フッ素化合物)は発がん性が指摘され、都水道局は、検出された井戸(7市34本)で取水を止めています。多摩地域では住民が自主的に血液検査にとりこんでいます。都が独自に血液検査や汚染源の解明を行うよう求めました。

また、横田基地周辺のモニタリング用井戸の再調査や学校の土壌調査を求め、都は、国が新年度の早い時期に土壌の測定方法を提示できるように検討するとしているので注視する旨を答弁しました。

統一協会が多摩市で土地購入

日本共産党都議団の調査で統一協会が、多摩市永山で高校・大学の隣、住宅地近傍の広大な土地を購入したこと、また「家庭教育支援条例」の制定を進める全国地方議員連絡会をつくり、都議や区議・多摩市議が参加していることが判明しました。知事はようやく統一協会の違法性に言及しました。今こそ機敏に、活動の根を断つ対策を進めるべきです。

都議会 2023年第1回定例会

請願・陳情、議員提案条例への賛否

2023年都議会第1回定例会で審議・採決された、請願・陳情、議員提案条例に対する主な会派の賛成・反対の態度です。(◎=紹介議員・提出者、○=賛成、×=反対)

	共産	自民	都ファ	公明	立憲	維新
小・中学校の給食費の無償化に関する請願	◎	×	×	×	○	○
インボイス制度の実施の中止を求める意見書提出に関する請願	◎	×	×	×	○	×
日米地位協定の改定を求める意見書の提出に関する陳情	○	×	×	×	○	×
神宮外苑地区の再開発に関する請願(都民への説明や意見を聞く機会を設けるなど)	○	×	×	×	×	×
都営住宅の使用承継制度に関する陳情	○	×	×	×	×	×
東京の保育の質を守り、向上させることに関する請願(保育士の配置基準引き上げなど)	◎	×	×	×	×	×
安心・安全の医療・介護・福祉の実現のため人員増と処遇改善を求めることに関する請願	◎	×	×	×	×	×
子どもの医療費助成の拡充に関する請願(18歳までの完全無料化など)	◎	×	×	×	×	×
補聴器購入費助成条例	◎	×	×	×	×	×